



子どもたちの「主体性」を伸ばす

ようやく暑さが落ち着き、青空の澄み渡る季節を迎えました。色とりどりに咲くコスモスの花や金木犀の発する甘い香りの中で、この2学期の中盤、子どもたちの学習は、順調に進んでいます。

さて、「ドーハの悲劇」をご存じでしょうか？今から30年前、1993年にカタールで行われたサッカーワールドカップアジア地区最終予選。日本代表は、10月28日に行われた最終戦で引き分けたため、本戦への出場が叶わず、予選敗退に終わった出来事です。この時、代表監督を務めていたのがハンス・オフトさん。彼は、オランダでサッカーの指導者としての資格を身につけ、日本をはじめ様々な国や地域でサッカーの指導を行って来ました。そのオフトさんが最も大切にしてきたのが、子どもたち一人一人の「主体性」。「自分は今、何をしなければならないのか、そのために仲間と何をするのかを考える」ということです。今、学校やスポーツクラブなどでは、指導者をはじめ周囲の人から言われてするのではなく、自分で調べ、準備し、挑戦する。そんな学習やトレーニングが求められています。

この10月。高浜小学校では、各学年において様々な学習や学校行事を行ってきま



5・6年生「プレゼン大会」

した。5・6年生の「校内プレゼン大会」では、子どもたちが自ら課題を発見し、その解決に向けて取り組んできた探究学習の成果を発表しました。解決策（新商品案）を各グループが考え出し、プレゼンテーション資料を作る、そして、タブレット端末を巧みに操作して発表を行うという取り組みの中で、子どもたちの主体性や創造性、探究する力が大きく伸びました。



投票箱設置（高浜公民館）

特に今回の発表では、5年生が赤紫蘇を活用した新商品「しそーめん」を発表し、6年生は、地域のゴミ問題の解決策として、8つの案を提案しました。その提案に対しては、広く町民の方からも投票やご意見をいただきました。今後の学習への励みとし、さらによりよい解決策を創り出していきたいと思います。

4年生がリーダーとなって行った1～4年合同の縦割り班による校外学習では、活動計画を4年生自らが立てました。当日の



5・6年生「プレゼン大会」

活動の終わりには、1～4年生全員で「振り返り」も行い、楽しいだけの活動ではなく、友だち同士の絆や異学年のつながりを強く感じられる学習になったことがうかがえました。これらの学習活動のキーワードの一つも、「主体性」です。学校において、子どもたちが自ら考え、生き生きと活動するために、今後も授業においては、学習内容にかかわる新たな発見・感動・喜びを体験し、時には、「正解のない問い」について、考え・判断する機会をつくっていきたくて考えています。また、体験学習をはじめ、異学年での交流や学習においても、友だちとのかかわりの中で様々な体験ができるような取り組みを行っていきたくて考えています。そして、子どもたちがチャレンジできる機会や場を設定し、全教職員であたたかく見守っていくことで、主体性を育てていきたくて思います。

オフトさんは「基礎の中に答えが全てある」とも語っています。ある中学校に招かれてサッカーの指導をした際には、練習時間はどんなに長くても2時間、基礎練習のみとしました。そして、「この練習で大切なことは、何か？」と問いかけ、子ども同士でコミュニケーションをとり合い、何が必要なかを考える時間を持ちました。

高浜小学校においても、日々の学習や計画的に位置づけてある学校行事をより効果的な活動にし、子どもたちが達成感を感じることができるようにするために、生活や学習面での基礎・基本となる力を定着させることを大切にしています。2学期後半、



今一度、生活ルールやマナーの点検、音読や漢字・計算など生活や学びにおける基礎・基本的な部分の定着が確実に図られるように取り組みを行っていきたくて思います。



11月の主な行事予定

- 1日 (水) 校内マラソン大会
- 2日 (木) 校内マラソン大会予備日
クラブ活動
- 3日 (金) 文化の日
- 7日 (火) 縦割り班活動
4年
ストレスマネジメント学習
- 8日 (水) 5年
こどもアートデビュー体験
(県立音楽堂)
- 9日 (木) 15:05 集団下校
- 14日 (火) 3年・4年・5年・6年
校内音楽発表会
- 15日 (水) 5年郡小中学校連合音楽会
(町文化会館)
- 16日 (木) 委員会
- 20日 (月) 5年命の学習
(町保健福祉センター)
- 21日 (火) 校内研究会のため
13:40 集団下校
- 23日 (木) 勤労感謝の日
- 24日 (金) 家庭学習がんばり週間
(30日まで)
- 29日 (水) 6年原子力施設見学
(高浜発電所)
- 30日 (木) 15:05 集団下校